

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業					
事務事業名	シンナー・覚醒剤等乱用防止啓発事業		シート番号	011-246				
担当部署名	健康福祉	局	健康部 保健所	部	環境業務	課	評価責任者(課長名)	野田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	昭和 58 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	大阪府麻薬覚せい剤等対策本部要綱			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	麻薬、覚せい剤、シンナー等の薬物乱用防止対策に関して、行政、警察及び教育等の関係組織で構成されている大阪府麻薬覚せい剤等対策本部に属し、『大阪薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」第五次戦略』に基づき、市民(特に青少年)を対象に薬物乱用防止啓発活動を実施する。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	市民が危険ドラッグを含む乱用薬物に対する正しい知識を身につけ、健康に悪影響を及ぼす薬物乱用が原因の事件・事故等のない健全な市を実現し、市民の健康が守られること。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動期間(6月20日から7月19日)中に、大阪府とともに、街頭キャンペーンによる啓発 ・各区域で行われる「区民まつり」等で、パネル・映像・グッズを使用したクイズによる啓発 ・市内学校で薬物乱用防止教室を開催するにあたって、要望に応じて啓発DVD(ビデオ)やパネルの貸し出し・啓発冊子の提供 ・広報紙・ホームページ等での啓発 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
10	直接実施以外の主な支出先						

Ⅲ. 投入量

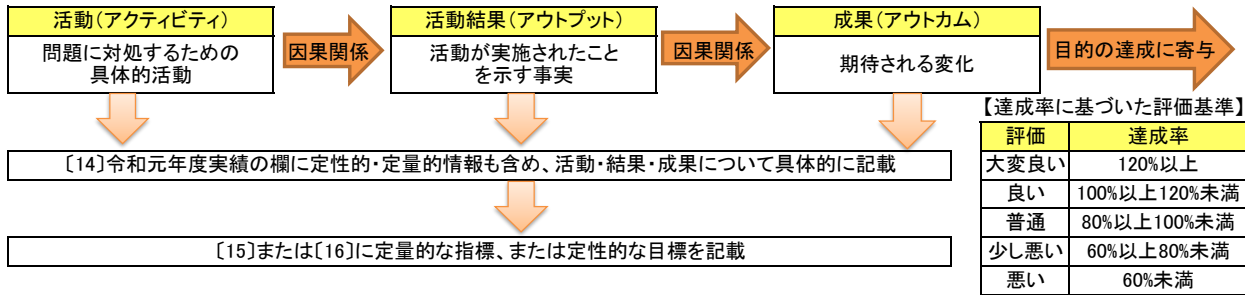
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
事業費 (a)	千円	1,242	1,239	1,329	1,172	1,290	565	738	
主な事業費内訳	啓発資材等	千円	727	727	727	654	710	553	160
	啓発冊子・リーフレットの作成	千円	500	499	580	506	560	0	560
	会議等出張旅費	千円	15	14	22	13	20	12	18
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他()	千円							
一般財源	千円	1,242	1,239	1,329	1,172	1,290	565	738	
12 人件費 (b)	千円	6,572	6,572	6,572	6,572	7,857	7,857	7,099	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	7,814	7,811	7,901	7,744	9,147	8,422	7,837	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	シンナー・覚醒剤等乱用防止啓発事業	シート番号	011-246
-------	-------------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	・ 泉北高速鉄道泉ヶ丘駅前にて、6月26日に街頭キャンペーン活動を行い、リーフレットを2,000部配布した。「(ダメ。ゼッタイ。)」普及啓発期間6月20日から7月19日) ・ 市内7か所で行われた区民まつりにおいて、計4,409人に対し、パネル・映像・クイズによる啓発を行い、クイズ解答後一人ひとり個別に解説を行った。 ・ 市内学校で開催される薬物乱用防止教室において、要望に応じて啓発DVDやパネルの貸し出し、啓発冊子等の提供を行った。 ・ 市内大学に対して、新入生等への啓発のため、啓発資料の配布を依頼した。 ・ 5月1日～6月30日に不正大麻けし撲滅運動としてパネル及びポスター掲示、6月20日～7月19日に「ダメ。ゼッタイ。」普及活動としてパネル展示、エレベーターインフォメーション及びポスター掲示、広報さかい掲載、10月1日～11月30日に麻薬・覚醒剤乱用防止運動としてエレベーターインフォメーション、懸垂幕及びポスター掲示、広報さかい掲載を実施した。						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				目標値	12,000	12,000	12,000	18,000
				実績値	17,823	21,053	24,131	
				達成率	149%	175%	201%	
				評価	大変良い	大変良い	大変良い	
			算出方法・設定根拠など 学校等への提供数(令和2年度より)					
	16	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				目標値	2,500	2,500	2,500	-
				実績値	3,167	3,997	4,409	
			達成率	127%	160%	176%		
			評価	大変良い	大変良い	大変良い		
		算出方法・設定根拠など 啓発クイズ解答後、一人ひとり個別に解説を行った人数(令和2年度は区民まつりがすべて中止されたため)						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	啓発リーフレット、冊子等の提供総数	枚	17,823	21,053	24,131
	②	上記①にかかる年間経費	千円	1,709	1,768	2,024
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	96	84	84
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	啓発クイズの解説を行い、正しい知識を普及啓発した人数	人	3,167	3,997	4,409
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,033	3,108	3,584
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	958	778	813
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		市内学校等へ啓発資料の情報を提供することによって、多くの学校において薬物乱用防止教室で啓発資料を利用してもらい、啓発活動の一役を担うことができた。区民まつりでは、来場している市民に積極的に声をかけをし、クイズや啓発資料を通して多くの青少年及びその保護者への啓発に寄与できた。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	シンナー・覚醒剤等乱用防止啓発事業	シート番号	011-246
-------	-------------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 市民(主に小中学生等の学生を含む青少年)への啓発事業を廃止すると、市民が有害な薬物の情報等を入手する機会が減ることにより、市民が知らずに薬物に手を出してしまうことが危惧され、市民の健康に悪影響を与え、薬物依存症の患者が増える可能性がある。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 学校等からの啓発資料提供の要望に応えられないことで、薬物乱用防止教室の開催に支障をきたすことや、イベント等の持続的な情報提供の場がなくなること、安易に薬物に手を出す青少年が増加する可能性があるため、休止はできない。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 啓発冊子・リーフレットの購入費用を削減されると、学校等へ提供できなくなり、学校等での薬物乱用防止教室の開催に支障をきたす恐れがある。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 区民まつりでは、出勤者の健康管理や感染防止対策を行い、来場している市民に対しては、クイズを行う前に手指消毒やブースへの入場制限などソーシャルディスタンスをとり、新型コロナウイルス等の感染症対策をとりながら啓発を行う。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明	国が策定した「第五次薬物乱用防止五か年戦略」に伴い、大阪府においても「大阪府麻薬覚せい剤等対策本部」(健康部長が本部長)の下、「大阪薬物乱用『ダメ。ゼッタイ。』第五次戦略」を策定し、総合的な薬物乱用防止対策に取り組んでおり、役割分担等はすでに行われている。他政令市においても、都道府県と連携し同様の事業を行っている。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	新型コロナ感染防止の観点から、街頭キャンペーン等の物品配布による啓発を縮小し、感染防止対策を行った上で、啓発パネル、DVDや薬物標本等の展示による啓発に切りかえていく。		